

# ごみ処理恵庭モデル確立に向けた提言(骨子案)

令和4年9月  
ごみ処理恵庭モデル検討会

## 1. 提言の構成

---

恵庭市のごみ処理の現状を受け、この提言(概要版)では、まず恵庭市のごみ処理全体について、基本とすべき方向性(基本的な考え方)を示します。

その後、恵庭市のまちの特徴、ごみ処理システムの特徴や課題を整理し、恵庭市ごみ処理において各テーマ(「ごみ減量」、「分別適正化」、「ごみ袋」、「戸別収集」、「粗大ごみ収集」、「生ごみの処理」、「リサイクルセンターの運営」、「焼却施設の運営」、「事業系ごみ」、「ごみ処理場の運営」、「ごみ処理手数料」)についての提言を行います。

## 2. 提言の基本的な考え方

---

### ●市民・事業者・行政の協働

ごみ処理恵庭モデル確立のためには、市民・事業者・恵庭市が協働して取り組むことが重要です。それぞれの情報共有、意識改革を進めるために、引き続き協働による啓発活動が有効であると考えます。

### ●発生抑制(減量、リサイクルの啓発)と適正で持続可能な廃棄物処理

ごみ処理恵庭モデル確立のためには、ごみの発生抑制や再使用・再生利用の促進を進め、ごみの減量・減容が必要です。また、各施設の効率的で安定した運営を継続し、計画的な施設改修を行うことで、適正で持続可能な処理を行うことが重要です。

### ●市民利便性の向上とコストの削減(収集コスト、各施設の運営コスト)

ごみ処理恵庭モデル確立のためには、DX等を活用したさらなる市民利便性の向上と、長期的に安定した廃棄物処理を行うためのコストの削減が必要です。収集コストや施設の運営コストを見直し、時代に合った選択を行っていくことが重要であると考えます。

### ●2050年恵庭市ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

ごみ処理恵庭モデル確立のためには、脱炭素社会実現に向けた取組みが必要です。一人ひとりがごみの減量のためにできることを考え、行動することで、温室効果ガスの排出量の減少にも繋がります。

### 3. 恵庭市まちの特徴

---

- ▶北海道では数少ない人口増加のまち(7万人突破)
- ▶食料品製造業を中心に企業立地も増加
- ▶コンパクトシティで平坦なまち

### 4. 恵庭市ごみ処理システムの特徴と課題

---

- ▶戸別収集を実施 → 分別率が高い → 一方高コスト
  - ▶プラスチック容器包装の分別収集を実施
  - ▶生ごみ分別収集を実施
  - ▶下水道事業と連携し官民連携によりバイオガス発電を実施
  - ▶単独自治体で焼却処分(28t×2)を実施 → 高コスト
  - ▶廃棄物処理施設が市内に点在 → 高コスト
- リサイクル率が高い

### 5. ごみ処理恵庭モデル確立のための提言の概要

---

(1)ごみ減量について  
...

(2)分別適正化について  
...

(3)ごみ袋について  
...

(4)戸別収集について  
...

(5)粗大ごみの収集について  
...

(6)生ごみの処理について  
...

(7)リサイクルセンターの運営について

(リサイクルパーク設置協議会での内容を基に、記載予定)

(8)焼却施設の運営について

...

(9)事業系ごみについて

...

(10)ごみ処理場の運営について

...

(11)ごみ処理手数料について

(第7回ごみ処理恵庭モデル検討会の内容を基に、記載予定)